中部地方

名前

問1　中京工業地帯の出荷額の内訳において、機械工業、特に輸送用機械（自動車など）の占める割合が非常に高い背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2025年 沖縄県公立入試 類似）

1. 伊勢湾沿岸は水深が浅く、大型船の入港には適さないが、その分内陸輸送のための高速道路網が他地域より早期に完成したため。
2. 中京地方は古くからアルミニウムの原料が豊富に採掘されたため、車体を軽量化するための金属加工技術が独自に発展したため。
3. 豊田市を中心に、自動車の組み立て工場と膨大な数の関連部品工場が狭い範囲に集まり、効率的な生産ネットワークが形成されているため。
4. 四日市市を中心とした石油化学コンビナートが日本最大の規模を誇り、そこで生産されるプラスチックがすべての自動車部品の原料となるため。

問2　中部地方に位置する、ある県の産業と地理的特徴について述べた文として正しいものはどれですか。なお、この県は、県内の鉄道営業距離が295 km、県庁所在地の人口が約27万人という統計資料が得られる地域です。（2020年 東京都公立入試 類似）

1. 日本最大の砂丘である鳥取砂丘があり、梨の栽培などの農業が平野部で盛んに行われている。
2. 若狭湾に見られるようなリアス海岸の地形を有し、眼鏡フレームの生産が盛んな平野部を持つ。
3. 兼六園に代表される歴史的な景観を持ち、金箔や漆器などの伝統工芸品の製造が盛んである。
4. 立山連峰を望む富山湾に面しており、豊富な水資源を利用したアルミニウム工業が発達している。

問3　日本の冬の気候において、日本海側で世界的に見ても稀なほどの降雪が見られる要因を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 太平洋側から吹く温かく湿った季節風が、高い山脈を越える際に冷却されて雪を降らせるため。
2. 赤道付近で発生した熱帯低気圧が日本海を北上し、大陸からの寒気と混ざり合うことで大雪をもたらすため。
3. 大陸からの冷たく乾燥した季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を取り込み、山脈にぶつかって上昇するため。
4. 冬に勢力を強める小笠原気団が日本列島を覆い、日本海側の湿った空気を急激に冷やすため。

問4　標高3000メートル級の山々が連なる日本アルプスは、日本の冬の気候に大きな影響を与えています。この地形がもたらす気候への影響について、最も適切な説明はどれですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）

1. 山脈の間を吹き抜ける風が弱まるため、中部地方の内陸部では冬でも湿度が高く維持される。
2. 冬の湿った季節風を高い山々がさえぎるため、日本海側に大雪を、太平洋側に乾燥した晴天をもたらす。
3. 標高が高いため一年中気温が変化せず、周辺の平野部に常に安定した温暖な気候をもたらす。
4. 季節風を完全に遮断するため、日本海側と太平洋側の両方において冬の降水量が極端に少なくなる。

問5　長野県白馬村における2015年から2019年にかけての外国人観光客の延べ宿泊者数の動向について、統計上の変化を説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。（2022年 神奈川県公立入試 類似）

1. 調査が開始された2015年時点において、アジア、北アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアの全地域を合計した延べ宿泊者数は、すでに15万人を超えていた。
2. アジア地域からの延べ宿泊者数は、増加の割合においてオセアニア地域を大きく上回り、全地域の中で最も高い成長率を記録している。
3. ヨーロッパからの延べ宿泊者数は、2015年から2019年にかけての5年間、前年を下回ることなく毎年連続して増加し続けている。
4. 2015年と比較して2019年は調査された全地域で宿泊者数が増加しており、特にオセアニアからの宿泊者は5万件台から17万件台へと3倍以上の大幅な伸びを見せている。

問6　名古屋港の輸出品目の特徴と、その背景にある地域の産業状況について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 秋田県公立入試 類似）

1. 中京工業地帯の自動車産業が集積しているため、自動車や内燃機関の輸出額が突出して高い。
2. 京浜工業地帯の化学工業が発達しているため、石油製品や医薬品の輸出額が最も多い。
3. 周辺にIC（集積回路）工場が多数進出しているため、電子部品が輸出の過半数を占めている。
4. 航空宇宙産業の世界的拠点であるため、航空機類の輸出額が自動車を上回っている。

問7　北陸地方において、耕地面積に占める田の割合が80%を超えるほど高い水準にあり、米の単作地帯が形成されている主な理由として、気候的な側面から説明したものを選びなさい。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 冬に多くの雪が降るため、冬の間は田畑を利用した農作業が困難になるから
2. 冬でも温暖な気候を利用して、米の二期作を行うことが一般的だから
3. 年間を通じて降水量が極端に少なく、水田以外の作物の栽培に適さないから
4. 夏に台風の被害が多く、畑での野菜栽培よりも稲作の方が安全だから

問8　静岡県島田市の地形図において、権現原周辺に茶畑の地図記号が広く見られる理由として、この地域の自然環境や地理的条件から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 島田駅や図書館などの公共施設が南側に集まっており、都市部での消費が期待できるため。
2. 大井川から大量の水を引くことが容易であり、常に湿潤な土地を好む茶の性質に合っているため。
3. 大井川沿いの台地で水はけが良く、温暖な気候が茶の生育に適しているため。
4. 寒冷な気候に強く、雪の多い地域でも安定して収穫できる作物として推奨されたため。

問9　中部地方にある都市の気候統計において、12月から1月にかけての月降水量が300mmを超え、冬に降水量のピークがある地域で見られる気候区分として、最も適切なものはどれですか。（2023年 宮城県公立入試 類似）

1. 太平洋側の気候
2. 日本海側の気候
3. 中央高地の気候
4. 瀬戸内の気候

問10　諏訪盆地における工業の歴史的な変遷と、現在の状況について述べた説明として、正しいものはどれですか。（2026年 新潟県公立入試 類似）

1. 明治時代に盛んだったパルプ・製紙業から、戦後は石油化学工業へと転換し、現在はプラスチック製品の出荷額が全国有数である。
2. 明治時代に盛んだった綿糸の製造から、戦後は重化学工業へと転換し、現在は輸入した鉄鉱石をもとに大規模な製鉄が行われている。
3. 明治時代に盛んだった生糸の製造から、戦後は精密機械工業へと転換し、現在は電子部品や計測機器などの製造も中心となっている。
4. 明治時代から一貫して輸送用機械の製造が盛んであり、現在は広大な平坦地を利用した自動車の組み立て工場が集積している。

問11　日本列島の中央部に位置し、日本海に面したある県について、統計資料において「米の収穫量が全国1位」であり、かつ「県内に越後平野が位置する」という特徴があります。この県として正しい名称を選びなさい。（2023年 愛媛県公立入試 類似）

1. 秋田県
2. 新潟県
3. 北海道
4. 山形県

問12　四日市市などの工業都市を擁する三重県の工業的特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）

1. 伝統的な繊維工業が、現在でも県全体の工業出荷額の過半数を占めている。
2. 出荷額において、パンや清涼飲料水などの食料品工業が最大の割合を占めている。
3. 高度な技術を要する印刷業が、重化学工業の出荷額を上回る規模で成長している。
4. 輸送用機械や化学、石油・石炭製品などの重化学工業が中心となって発展している。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 豊田市を中心に、自動車の組み立て工場と膨大な数の関連部品工場が狭い範囲に集まり、効率的な生産ネットワークが形成されているため。	中京工業地帯では、自動車メーカーの組み立て工場だけでなく、その周囲にエンジンやブレーキ、内装品などを作る数千もの関連企業が集積しています。この「関連工場が集まっていること」が、輸送コストの削減や部品調達のスピードアップ（ジャストインタイム生産方式など）を可能にし、日本最大の出荷額を生む要因となっています。アルミニウムの原料（ボーキサイト）は輸入に頼るものであり、国内で豊富に採掘されることはありません。
問2	答え 2 若狭湾に見られるようなリアス海岸の地形を有し、眼鏡フレームの生産が盛んな平野部を持つ。	福井県は若狭湾の入り組んだリアス海岸や、鯖江市を中心に発展した世界的な眼鏡産業で知られています。提示された鉄道営業距離（295km）や県庁所在地の人口（約27万人）といった統計は、北陸地方の中でも福井県の特徴を示すデータです。選択肢の「金箔や漆器」は石川県、「アルミニウム工業」は富山県の特徴であり、これらと区別する必要があります。
問3	答え 3 大陸からの冷たく乾燥した季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を取り込み、山脈にぶつかって上昇するため。	冬になると、ユーラシア大陸にあるシベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この風はもともと乾燥していますが、対馬海流（暖流）が流れる日本海を渡る際に大量の水蒸気を蓄えます。この湿った空気が日本列島の脊梁山脈にぶつかって上昇し、冷却されることで日本海側に多量の雪を降らせます。これに対し、山を越えた後の風は乾燥するため、太平洋側では晴天の日が多くなります。
問4	答え 2 冬の湿った季節風を高い山々がさえぎるため、日本海側に大雪を、太平洋側に乾燥した晴天をもたらす。	日本アルプスのような大規模な山塊は、冬に北西から吹く湿った季節風を遮る高い壁の役割を果たします。湿った空気が山を越える際に上昇して雲を発達させ、日本海側に大量の雪を降らせます。その後、水分を失って乾燥した空気が山を越えて吹き下ろすため、太平洋側では乾燥した晴天が多くなります。このように、高い山脈の存在は日本の地域ごとの気候差を生む大きな要因となっています。
問5	答え 4 2015年と比較して2019年は調査された全地域で宿泊者数が増加しており、特にオセアニアからの宿泊者は5万件台から17万件台へと3倍以上の大幅な伸びを見せている。	白馬村の観光統計によると、2015年から2019年にかけて全ての地域で外国人観光客の延べ宿泊者数が増加しています。特にオセアニア地域は約5万件から約17万件へと3.4倍近い急成長を遂げているのが最大の特徴です。ヨーロッパ地域については期間全体で見れば増加していますが、年によっては微減するなどの変動があるため「毎年連続して増加」という説明は不適切です。また、2015年の合計宿泊者数は15万人には達しておらず、計算ミスを誘う選択肢にも注意が必要です。
問6	答え 1 中京工業地帯の自動車産業が集積しているため、自動車や内燃機関の輸出額が突出して高い。	名古屋港の貿易額の大きさは、中京工業地帯における製造業の活発さを反映しています。この地域は自動車の製造工程において、部品の製造から組み立てまでを行う工場が密接に連携しており、港からは世界各地へ向けて自動車本体や内燃機関などの関連部品が大量に送り出されています。選択肢にある集積回路や石油製品は、他の地域の港や空港の特徴です。
問7	答え 1 冬に多くの雪が降るため、冬の間は田畑を利用した農作業が困難になるから	北陸地方で米の単作地帯が形成された背景には、冬の気候が大きく関係しています。冬に季節風の影響で世界有数の豪雪地帯となるため、冬の間は雪に覆われて農作業が困難になり、小麦などの裏作を行うことができませんでした。そのため、夏の間に集中して米を作る農業経営が定着し、結果として耕地面積のほとんどが田として利用されることになりました。現在は品種改良や土地改良も進んでいますが、依然として高い田の割合が特徴となっています。
問8	答え 3 大井川沿いの台地で水はけが良く、温暖な気候が茶の生育に適しているため。	茶の栽培には、年間を通じて温暖な気候であることと、根腐れを防ぐために水はけ（透水性）が良い土地であることが重要です。島田市を流れる大井川周辺の台地や斜面は、砂礫質の土壌が多く水はけに優れているため、大規模な茶園が発達しました。選択肢にある「図書館が南にある」といった情報は土地利用の直接的な理由にはなりません。
問9	答え 2 日本海側の気候	冬に北西から吹く季節風が、対馬海流（暖流）の影響で湿気を蓄え、越後山脈などの高い山々にぶつかることで、日本海側には多くの雪が降ります。このため、新潟市などの地域では冬の降水量が夏よりも多くなるのが大きな特徴です。
問10	答え 3 明治時代に盛んだった生糸の製造から、戦後は精密機械工業へと転換し、現在は電子部品や計測機器などの製造も中心となっている。	諏訪盆地の工業は、時代のニーズに合わせて発展してきました。明治時代には主要な輸出製品であった生糸を生産していましたが、戦後はその技術基盤を継承しつつ、時計やカメラに代表される精密機械工業へ転換しました。さらに近年では、技術の高度化にともない、小型で高付加価値な電子部品や、医療機器、計測機器などの製造へとさらなる多角化が進んでいます。綿糸や重化学工業は、主に沿岸部の工業地帯・地域の特徴であり、内陸の諏訪盆地には当てはまりません。
問11	答え 2 新潟県	本州のほぼ中央で日本海に面している新潟県は、信濃川の下流に広がる越後平野を有しており、米の収穫量は全国トップクラスです。選択肢にある秋田県は「八郎潟の干拓」や「秋田平野」、山形県は「最上川」や「庄内平野」、北海道は「石狩平野」での稲作が有名ですが、設問の越後平野は新潟県に該当します。
問12	答え 4 輸送用機械や化学、石油・石炭製品などの重化学工業が中心となって発展している。	三重県の工業は伊勢湾沿岸を中心に発達しており、特に四日市市の石油化学コンビナートや、鈴鹿市などの自動車産業が県内の経済を支えています。これらは重化学工業に分類され、製造品出荷額においても輸送用機械、化学、石油・石炭製品の順に高い割合を示しており、食料品や印刷といった軽工業分野に比べて圧倒的な規模を誇ります。